

honor to person publicly 顕彰事業 programs

「社会貢献大賞」を設けました。

全日本社会貢献団体機構は広く会員の社会貢献活動の努力を顕彰し、今後一層の活動を期待して、年間で最も優れた社会貢献活動に「社会貢献大賞」を授与することとし、その第1回が平成17年(2005年)1月から12月の事業を対象に実施されました。会員単位の応募とし26都府県方面遊協から42件の申請がありました。

■部門別申請件数 ●26都府県方面遊協 ……………42件 1. 社会貢献部門(14府県・方面)……………17件 2. 地域貢献部門(9県・方面)……………10件 3. 青少年育成部門(3都府県)……………4件	4. 災害救助部門(1県)……………1件 5. 交通安全部門……………0件 6. 防犯関連部門(4県)……………4件 7. 暴排関連部門……………0件 8. その他(6都県)……………6件
--	--

それらを「社会貢献活動審査委員会」で慎重に審査し、第1回の「社会貢献大賞」を決定しました。

●審査委員会委員

委員長 遠山敦子会長

委員 平山郁夫名誉会長、原田實理事長、野口昇筆頭理事、田中亀雄筆頭理事、米田義一筆頭理事、松尾守人理事、山下頼充理事、脇田直枝理事、磯敬夫理事

●審査基準

①企画の斬新性 ②実施効果 ③話題の大きさ ④継続性 ⑤金額の大きさ ⑥会員のモチベーションアップ

社会貢献大賞	大阪府遊技業協同組合 「未来っ子カーニバル」
部門賞	
社会福祉賞	函館方面遊技業協同組合「献血活動事業」
地域貢献賞	神奈川県遊技場協同組合 「かながわパチンコ・パチスロ社会貢献20周年 20億円達成記念事業」
青少年育成賞	大阪府遊技業協同組合「未来っ子カーニバル」
災害救助賞	宮崎県遊技業協同組合「台風災害復旧活動」
犯罪防止協力賞	長野県遊技業協同組合 「特定非営利法人しなの」の活動
文化活動支援賞	兵庫県遊技業協同組合「はあ〜とふるふあんど事業」※ ※「その他」部門の中で選定され、審査会の席上「文化活動支援賞」と決定
特別賞	
審査員奨励賞	東京都遊技業協同組合 いのちの絵本「牛さんも錦鯉さんも元気でよかったね」
審査員奨励賞	神奈川県遊技場協同組合「国立ポリシヨイサーカスへの招待」

表彰は平成18年(2006年)7月21日総会席上で行うことになっており、①表彰状(名誉会長・会長連名)および②盾(名盤付き)が贈られます。また、表彰式には事業担当者2名が招待されることになっています。

「助成事業」は機構の中心事業です。

今日の社会に最も必要とされる研究や事業に助成する活動は当機構の設立趣旨の根幹であり、中心事業です。これまで全日本遊技事業協同組合連合会(全日遊連)が積み立ててきた社会貢献基金を財源に、毎年 1. 学術・文化の振興 2. いのちを大切に研究・活動 3. 子どもの健全育成に関する事業を中心とした事業で今最も必要な社会貢献となる事業を選んで助成します。

平成17年度(2005年度)は創立を記念して二つの事業に助成を行いました。

1 文化振興に関する助成事業

●助成事業 「日中韓文化交流フォーラム」

広く東アジア全般の文化財保護をはじめ学術、文化の交流や共同研究などを目的に平成17年(2005年)12月6日、韓国ソウルに3国の有識者が集まって発足した民間の文化事業

●助成団体 財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団(平山郁夫理事長)

●助成金額 1,000万円

2 いのちを大切に研究・活動に関する助成事業

●助成事業 「救急ヘリコプター啓蒙・広報事業」

諸外国に比べて大きく遅れている救急ヘリコプターの重要性和必要性を広くPRする広報誌(年4回)の発行事業

●助成団体 NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク(国松孝次理事長)

●助成金額 500万円

助成事業

subsidy programs